

総合診療科 24時



総合診療科部長 北條 宣政

【ほうじょう・のぶまさ】

島根医科大学 平成3年卒
 ・日本内科学会認定総合内科専門医
 ・日本感染症学会認定感染症専門医、指導医
 ・日本プライマリ・ケア連合学会認定医、指導医
 ・日本リウマチ学会会員
 ・医学博士
 ・島根大学医学部臨床教授
 ・専門分野：感染症、膠原病、総合診療



1. はじめに

国立病院機構浜田医療センターに「総合診療科」が誕生してもうすぐ1年になります。現在、北條宣政（ほうじょうのぶまさ）医師（平成3年卒業）、河田公子（かわたきみこ）医師（平成5年卒業）、沖田泰平（おきたたいへい）医師（平成20年卒業）の3名が診療を行っています。3名は専門や得意分野が異なり、北條医師は感染症、河田医師は糖尿病、沖田医師は救急科を専門としていますが、専門分野以外の診療も積極的に行っています。週に1度、総合診療科の医師が集まってカンファレンスを行い、入院患者について情報交換とお互いへの助言を行っています。

総合診療科は1994年に島根県立中央病院に県内で初めて設置されて以来、すでに20年が経過しました。現在は松江赤十字病院、松江市立病院、島根大学医学部附属病院、雲南市立病院、大田市立病院、益田赤十字病院など県内の主要な総合病院に設置されています。病院の規模や医師の人数や配置によって医療機関ごとに総合診療科の役割が少しずつ異なっています。

今回は浜田医療センター総合診療科についてご紹介します。

2. 総合診療科を受診するとき

浜田医療センターは地域医療支援病院として、かかりつけ医からの紹介患者と救急患者の診療を主に行っています。総合診療科の一般外来は北條医師と河田医師が受

け持ち、発熱、食欲不振、体重減少、むくみなどで、かかりつけ医から紹介されることが多く（表1）、入院診療を依頼されることもあります。救急外来は沖田医師が初期臨床研修医の指導をしながら診療を行っています。

総合診療科だけで診断と治療が行われることもありますし、各診療科へ診療を依頼することもあります。ときには精神科や心療内科など院外の医療機関に紹介することもあります。

救急の場合などを除き、紹介状なしでの受診はお勧めしていませんが、かかりつけ医を決めていない方がどの診療科にかかればよいか分からない場合に総合診療科を受診されることがあります。その時は一時的な「かかりつけ医」として必要に応じて適切な診療科に診療を依頼します。

表1 受診の主な理由

発熱	食欲がない	体重減少	むくみ
貧血	血小板減少	リンパ節のはれ	肝臓・脾臓のはれ
せき・たん	だるさ	めまい	しびれ
頭痛	筋肉痛	神経痛	関節痛
脱力感	歩行障害	意識障害	認知機能の低下
高血圧	糖尿病	脂質異常	電解質異常

3. 総合診療科が必要とされる分野

■ 総合的な判断が必要とされるとき

発熱を例にとりますと、発熱を起こす原因として感染症、悪性新生物、自己免疫疾患などが考えられ、診断のためにいくつかの検査を行い、場合によっては複数の診療科を受診することをお勧めすることがあります。総合診療科が予約などの調整を行います。

■ 複数の病気や健康問題があるとき

複数の診療科にまたがる病気や健康問題に対して総合診療科が診療することがあります。介護が必要な方が誤えん性肺炎と急性腎盂（じんう）腎炎を同時に発症したときなどが当てはまります。

■ 常勤の医師がいない診療科の診療支援

浜田医療センターには27の診療科があり、いくつかの診療科は島根大学や鳥取大学などから非常勤医師の派遣を受けて診療を行っています。常勤の医師がいない診療科で入院が必要な場合には、総合診療科の医師が各診療科の医師と協力して入院診療を担当することがあります。

4. 総合診療科の入院患者

総合診療科へ入院される方の疾患は、肺炎や急性腎盂（じんう）腎炎などの感染症が約4割を占めます（図1）。感染症以外の疾患では、腎臓、内分泌・代謝、血液、神経など常勤の医師がいない診療科の診療を担当することが多く、浜田医療センターでの総合診療科の役割が現れています（図2）。それぞれの専門医から助言を受けながら、適切な診療を心がけています。

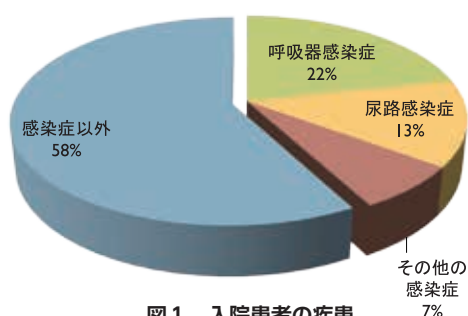


図1 入院患者の疾患

(2015年4-12月 北條医師)

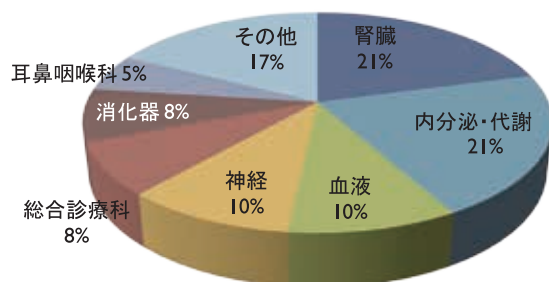


図2 入院患者の感染症以外の疾患

(2015年4-12月 北條医師)

5. 総合診療科の医師を育てる

2017年4月から新たな専門医制度が始まり、新しく「総合診療専門医」が19番目の専門医として加わります。総合診療専門医は、地域を支える診療所や病院の医師として、専門化した医療のすきまを埋め、住民の方々が納得できる医療を提供します。近い将来には、多くの総合診療専門医が全国の医療機関で活躍すると思われます。

総合診療専門医以外の専門医は大学病院や大きな研修病院で育成されますが、総合診療専門医は主に診療所や中小病院と総合病院で育成されます。浜田医療センターは浜田市国民健康保険診療所（弥栄診療所・波佐診療所・あさひ診療所・大麻診療所）とともに総合診療専門医を育てるプログラムを準備し、専門医を目指す医師の教育に携わります。

6. 質問と回答

Q.質問

診療で心がけていることはありますか？

A.回答

患者さんが病院を訪れた理由を理解することに注意を払います。検査をしてほしいと思っている方もあれば、薬を出してもらえれば良いと考えている方もあります。病院や医師が苦手な方もあります。一人一人の希望がかなえられ、満足して帰っていただけることを心がけています。

Q.質問

総合診療科はどうして患者さんの診療時間が長いのですか？

A.回答

初診のときには、正しい診断を導くために、現在の症状だけでなく、これまでの病気や生活の状況、居住環境、家族やペットのこと、仕事の内容、心理的な側面について情報を得ることが必要です。そのため、一人の患者さんにかかる時間が長くなります。診察の待ち時間が長くないように気をつけたいと思います。

Q.質問

最後に読者の方に何か一言お願いします。

A.回答

新たな専門医制度のもと、2020年に初めて「総合診療専門医」が全国に誕生します。総合診療専門医には、専門医やかかりつけ医、介護施設や市などの機関と連携しながら、効率的な医療を提供することが期待されています。患者さんや市民の皆さんとともに地域医療を創る視点を持ち、高齢化を迎える日本の医療を下から支える役割があります。

浜田から多くの総合診療専門医を育てることに挑んでゆきたいと思います。